

南棟

北棟

リサイクル啓発の「まつやま Re・再来館」月刊紙

リサイクルの
洋服・着物・家具
の安価販売！

りっくるだより No. 247 (2023年5月号)

お手頃価格の
着物リメイク製品・手すき
葉書・ふすま張替

工房イベント

チュールバッグ作り

<見本>

日時：5月21日(日)
10:00~14:30
内容：チュールで夏用インバッグ作り
対象：大人(ポータブルミシン経験者)
人数：6人
参加費：600円
持参品：裁縫道具、はさみ、待ち針、昼食、布と糸は先生が用意
締切：5/12(金) **必着**



申し込み方法

来館、はがき、FAX(974-4024)、HPイベント申込フォーム
<https://www.rikkuru.jp> で、住所・参加者の氏名(フリガナ)・
電話番号・FAX番号・イベント名を記入の上、
〒790-0054 松山市空港通 1-1-32 まつやま Re・再来館「チュールバッグ作り」係まで

りっくるHP



～松山市内のセブン店舗にペットボトル回収機を設置②～

(株)セブン-イレブンでは2017年から全国の店頭へのペットボトル回収機の設置を進めており、
現在(2023/2/28)2660台が設置されています。

本ペットボトル回収事業は、愛媛県を含む瀬戸内4県が推進する包括的海洋ごみ対策プロジェクト「瀬戸内オーシャンズX」を推進する(公財)日本財団と株式会社セブン-イレブン・ジャパン、
松山市が連携し、限りある資源の有効な活用と海洋プラスチックごみ対策を目的としています。
回収機本体費用の約1/3を日本財団が拠出しています。

松山市内のセブン店舗に設置された51台の回収機は、センサーが改良された最新鋭機で、(株)寺岡精工
が開発したものです。内蔵されたセンサーがラベルやキャップのほか異物を感知して混入を防ぐ
ことができ、新開発の圧縮機構により省スペースと質の高い資源回収を実現しており、「ペットボ
トル減容回収機」と言われます。各店舗から圧縮回収されたペットボトルは、従来の回収ルート
に乗せるのではなく、リサイクラーと言われる会社へ送られ、ペットボトル再原料化されて、ボ
トル to ボトルによるリサイクル循環がなされます。

セブン店舗で販売されている「一(はじめ)緑茶」と機能性表示食品の「一(はじめ)
緑茶一日一本」には、セブン店舗で回収したペットボトルから作られた再生PET樹脂を
100%使用した完全循環型ペットボトルが使用されています。(伊藤)



ボトル to ボトルの取り組み

修理工房

<持込可能な家具の修理><網戸張替>

5月6日(土)10~12時

- ※ 申込方法・締切(4/25)・結果連絡方法は講座と同じ。事前申込が必要!
- ※ 家具・網戸実費(600円程度/網・ゴム持参は100円/横幅85cm以上は別料金)

※ 講座・イベント等、申し込まれた方への結果連絡は、受講(参加)できる方のみとなっております。

※ りっくるだよりのバックナンバーは、HPで6ヵ月前まで閲覧できます。

※ facebookで日々のできごとを掲載しています!

ホームページ <https://www.rikkuru.jp> からログイン!

編集長:高岸